

なとり・いわぬま商工会だより



第49号

Wing's

2021. 1. 1



岩沼市中央通り商店街イルミネーション

名取市商工会

会員数 1,177名
(令和3年1月1日)

名取市増田字柳田243 TEL 022-382-3236 FAX 022-382-3406

メールアドレス natori1@io.ocn.ne.jp
ホームページ <http://natori.in-shoko.com/>

岩沼市商工会

会員数 830名
(令和3年1月1日)

岩沼市中央二丁目5-25 TEL 0223-22-2526 FAX 0223-22-2049

メールアドレス info@iwanuma-sci.or.jp
ホームページ <http://iwanuma-sci.or.jp/>

『止まない雨はない』

地域経済の活性化に繋がるよう

岩沼市商工会会長 大友浩幸



の皆様には、日頃より商工会事業
運営にあたり、多大なるご支援、
ご協力を賜り厚く御礼申し上げま
ざいます。会員

昨年一月に「新型コロナウイルス」の国内感染者が発表されて以来、急速に感染者数が増大し、沈静化が見えない現況下、感染症の影響により多くの営業活動に制限・支障をきたし事業所の方々には、衷心よりお見舞い申し上げます。

昨年を振り返りますと連日「コロナウイルス感染症関連」の報道が頻繁に流され、『出口の見えない未曾有の災難に見舞われた年』でした。

当商工会としては岩沼市と連携して、地元経済活性化事業の一環として、五月には「いわぬま飲食店割増商品券販売事業」、七月には「いわぬま地元応援割増商品券販売事業」を実施し、市内事業所の売上回復のため割増商品券を販売致しました。更には商工会商業部会を中心に、会員事業所の「自助努力力」を促す「コンタ君のわくわく大売出し」と題した共同売出しを実施して、業績回復の一助に努めま



コロナ禍における地域経済の活性化に向け

活性化に向けて

岩沼市長
菊地啓
吉

あけましておめでとうござい
ます。清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。両商工会の会員の皆様には、日頃より岩沼市政に格別のご理解とご協力をいただいておりまことに心から感謝申し上げます。

沼市震災復興計画マスター・プラン「フオローアップ計画」の最終年度であり、復興の総仕上げをえていきます。

お陰様で、本市の復興はハード事業がほぼ完了し、これからは被災者の方々の真の自立のために必要な支援を行うとともに、昨年四月

まもなく東日本大震災の発生からスタートした「第二期岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の

感染症拡大の影響を受け、急速なデジタル化の進展など社会環境が大きく変化しようとしています。こうした中、ウイズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、今後も両商工会や関係機関と連携を図りながら、地域経済の更なる発展に取り組んでまいりたいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、両商工会の益々のご発展と会員各位のご健勝をご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

再生からの再出発に向けて勢いを
付けたい年でもあります。

『止まない雨はない』の言葉通り、
一日も早いコロナ禍の終息と経済
の再生を強く望みます。

現在、当会地域においても地方
の中小・小規模事業者が抱えてい
る課題同様、年々深刻さを増す問
題に直面しておりますが、商工会の
キャッチフレーズの「商工会は行き

日本の根底を支えるのは、中小・
小規模企業の皆様です。商工会は、
会員事業所が「元気な企業」にな
るよう「伴走型支援」で寄り添つ
て参ります。

最後に、会員皆様のご多幸とご
健勝を祈念申し上げ、年頭の挨拶
とさせていただきます。

議等の負託に応えられるよう、従業員一丸となつて銳意努力して参る所存であります。

ます、聞きます、提案します」をモットーに巡回訪問と窓口相談を強化し、皆様のご意見、ご要望、ご相

各種施策を積極的に展開し、復興から地方創生へと着実に歩みを進めています。

賀 正
本年もよろしく
お願ひ申し上げます

監理事長
副會長
永國大東
務局友
職員浩
一同治幸
彦子治幸
和光輔幸
彦也一裕
守澄雄幸
義郎幸穏
美朗昭平
彦昭平彦
子治幸

名取市商工会では、創業予定者や創業して五年未満の方、経営を新たに学びたい方を中心とした「創業セミナー」を十一月八日(日)・十五日(日)の二日間、メイン講師として経営デザインえむよん・中小企業診断士(三浦宗昭氏から「経営」「販路開拓」「人材育成」の三分野について、株日本政策金融公庫仙台支店の田中融資課長より「金融」について、今後必要となる経営の基本的な考え方と国の補助事業に対応可能な経営計画の立て方等について学びました。

【創業セミナーを開催】



で開業後の事業経営において重要なものとなることなど、受講者の経営・創業に対する意識の高揚と不安の払拭を図ることができたセミナーでした。

商工会では、受講者の創業に向けて状況に応じた適切な支援を今後も実施する予定です。

十月一日(木)～四日(日)
の四日間、JR仙台駅構
内において名取市の特産
品を中心としたブランド
力向上と新規顧客開拓に
向けた販売会を開催しま
した。



試食禁止など感染症拡大防止策を講じた上での出展となり、仙台駅の利用客も激減していくことから、来場者数も大幅に減少するなど厳しい状況下でも、出展業者は自慢の自社製品をPRしながら販売を行つていきました。前年は台風十九号の直撃、今年は新型コロナウイルスと二年続けて不運に見舞われましたが、大型商圈である仙台圏と仙台駅を利用する首都圏等の消費者に企業PRと販売機会の創出を図ることができました。

**【名取市地域応援フレーム商品券
使用期限迫る!】**

八月から販売を開始した「名取市地域応援プレミアム商品券」の使用期限は一月三十一日(日)までとなっています。まだお手元にあるお客様は期限までご使用下さいますようお願い致します。

おかげさまで商品券の換金率は十二月十日現在で七五・九%となり、多くの事業所で使用され、緊急経済対策事業として成果が表れましたと思われます。

商品券の換金最終受付は二月十五日(月)ま



(協) 岩沼銀座繁榮会主催による「イルミネーションタイムアップ」歳末大売出し「オープニングイベント」が中央通り岩沼蕪寿司前において開催され、「イルミネーション点灯式」及び地元宮城県出身ユージシャンによるミニコンサートが行われました。

毎年恒例の「歳末大売出し」期間は、令和二年十二月七日(月)三十一日(木)現金でのお買い物千円につき一回抽選の「お買い物角くじ」方式で行われ、賞品は「五千円のお買

尚、「イルミネーション」の点灯は、本年一月一四日まで、七十七銀行岩沼支店前から河村商店前の区間で、午後四時三十分から午後十時まで毎日点灯されます。

『コロナ禍の中、少しでも商店街にいらしたお客様に和んで頂きたい。』と願いを込めての点灯です。商店街の近くまで来られた方は、是非、足を運んでいただきたいと思います。

日頃からご愛顧いた
だいている消費者への
感謝と新型コロナウイ
ルス感染症の影響によ
り停滞している事業者
の販促活動を促すため、
名取市商工会商業・工
業・サービス業部会合
による歳末大売出し
事業を十二月一日～三
十一日まで市内約六十
の小規模事業店舗で実
施しました。

今年度もスクランチ
カード方式を採用し、
旅行券や人気ゲーム機、
空気清浄機など豪華景
品が当たるラッキーサン
クを必ず各店に一本取り
揃え、その場で使える
お買物券も倍額にする
など、消費者に喜んで
もらえる事業を展開し
ました。

コロナ対策で抽選箱
を廃止したため、お客
様から「毎年カードを
引くのを楽しみで買い
物している。引けない
のは残念」との声もあ
りましたが、豪華景品
を手にしたお客様は満
面の笑みを浮かべてい
ました。

コロナ禍の中「希望の灯火を」

(協) 岩沼銀座繁榮会主催による「イルミネーションタイムアップ」歳末大売出し「オープニングイベント」が中央通り岩沼蕪寿司前において開催され、「イルミネーション点灯式」及び地元宮城県出身ユージシャンによるミニコンサートが行われました。

毎年恒例の「歳末大売出し」期間は、令和二年十二月七日(月)三十一日(木)、現金でのお買い物千円につき一回抽選の「お買い物角くじ」方式で行われ、賞品は「五千円のお買

当商業部会では、令和二年十一月九日（月）～十二月六日（日）の四週間に亘り、「コンタ君のわくわく大売出し」事業を実施しました。コロナ禍の中、会員事業所の自助努力を伴う販売促進事業には十六事業所が参加しました。

抽選会が行われ、「ヴィ
ルス対応空気清浄機」「
秋保温泉ホテル佐勘
ペア宿泊券(五万円)」
「家族団らん鍋奉行セツ
ト(一万円相当)」など
豪華景品が進呈されました。
した。
市内全域の事業所を
対象とした共同売出し
は初めての試みでした
が、当初予定の売上額
を大きく上回る結果と
なり、多くの消費者の
皆様に喜んでいた。だく
ことができました。

— 宮城の中小企業 を応援します —

総合火災共済 + 地震危険補償特約

火災、落雷、風災・雪災・雹災事故などのほか、洪水・高潮・土砂崩れ事故も補償範囲（令和3年1月改定で補償拡充）

休業対応応援共済

火災・台風などによる事故はもちろん、地震・津波・噴火などにより建物が損害を受け、休業した場合の休業補償

お問い合わせ・お申込みは
名取市商工会・岩沼市商工会へ

地震・津波・噴火による損害に備え!!
住宅に限らず、店舗・事務所・工場など新耐震基準である昭和56年6月以降の「建物」が対象

自動車共済	医療・傷害共済
地震危険補償共済	その他共済

あるいは直接 宮城県火災共済協同組合へ
TEL. (022) 263-1265 FAX (022) 267-2878

新会員紹介(名取市)		新会員紹介(岩沼市)	
第一物産株(飲食業)	加藤 和彦	SAK-設計(設備設計(電気))	伊藤 吉一
三浦 聰	山崎 敦子	特定非営利活動法人 みちのくトレインクラブ	伊藤 孝一
小室わさび屋(ワサビ・ランチ販売)	小室 仁	S S -電気通信設備株(セキュリティ機器販売・設備)	佐々木 豊志
かわまちてらす閣上(商業施設)	櫻井 広行	(税理士) 日本予防経営仙台南支店	鈴木勝店(建設業)
浜ちどり(飲食業)	神尾聰一郎	SKT株(建設業)	鈴木 勝利
半田 純	山田 一文	Mosse(自動車販売)	和田 細川 英治
山野莊(山菜・きのこ・飲食)	谷田 三規	cafe chocott(飲食業)	鈴木勝店(建設業)
鈴木 美幸	茂木 宏	代表 鈴木 孝彦	鈴木 勝利
Miu-Kitchen(洋菓子・飲料)	尾形 寛(舞台照明業)	代表 鈴木 久子	すずみ工務店(建設業)
鈴木 晃(税理士)	尾形 寛	代表 鈴木 孝彦	鈴木 勝利
株シベール(洋菓子・パン・焼菓子)	中澤 仁	大野 正行	大久工務店(大工工事)
小田切一哉	菊地 肇	代表 大野 正行	大久 元史
OGUSHI HAIR RELAX(美容業)	尾形 寛	代表 大野 正行	ガラス工房GlassK
中條 紳也	尾形 寛	代表 大野 正行	(ガラス工事業)
株今慶農産(農業全般・飲食業)	大沼 敏男	代表 大野 正行	代表 木曾 達也
今野 慶一	猪岡 誠一	代表 大野 正行	鈴木 勝利
株マルトモサービス(便利屋)	大沼 敏男	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
佐藤 友和	代表 猪岡 誠一	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
しらとり法律事務所(弁護士)	代表 猪岡 誠一	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
白鳥 剛臣	代表 猪岡 誠一	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
社会保険労務士(社会保険労務士)	佐藤 友和	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
原 多喜子	代表 小齋 理恵	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
(有)サクシング フォーシーズ	鈴木 一美	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
(有)サンライナー・シェンロン(飲食業)	鈴木 一美	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
SPAROOM InGRACE(エステサロン・雑貨販売)	木野明希子	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
H A R T(建設業)	(有)東日本通信建設(電気工事業)	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
代表取締役 佐々田哲舟	代表 小齋 理恵	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
社会保険労務士 多喜子事務所	木野明希子	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
白鳥 剛臣	(有)ひばり(飲食業)	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
原 多喜子	代表 小齋 理恵	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
岩崎 裕治	鈴木 一美	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
森 陽夫	鈴木 一美	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
只野 彩佳(絵画・美術製作)	鈴木 一美	代表 小齋 理恵	鈴木 勝利
堀籠左官(左官業)	代 表	堀籠 由三	だんまや水産(飲食業)
代 表	堀籠 由三	代 表	佐々木 一哉
岩沼駅前店	岩沼駅前店	岩沼駅前店	岩沼駅前店



女性部 広域エリア別指導者研修会開催

名取市・岩沼市商工会青年部では十二月十一日（金）、いわぬま市民交流プラザにおいて、仙台国際空港㈱取締役航空営業部長の岡崎克彦氏をお招きし、広域エリア別指導者研修会を開催しました。二〇一六年に仙台空港の民営化が行われ、大手企業から仙台国際空港㈱へ出向した岡崎氏は、旅客数の増加とエアラインの獲得に尽力し、「仙台空港を拠点とする「人」や「モノ」の流れを拡大することが我々の使命と考えている」など思いを力強くご講演いただきました。また、事業を継続する

開発目標)¹⁷」の目標を事業に実践することで社会貢献につながり、「新しい価値観」を生み出すきっかけとなり、経営戦略の一になることも学ぶことができました。

本研修会を通じ、経営者としての資質や経営戦略の向上を図ることができ、今後の青年部活動においても魅力的な事業を企画・開催したいと思える研修会でした。

青年部 「名取市・岩沼市商工会青年部 広域エリア別指導者研修会」の開催

ある昨今、東日本大震災等多くの情熱の中経験を積んでおられる株イトオスンのスコット・プ・団長及び初代

代良才著《歌詞多六·經》

り大質部シ自営をるなりる

ま変向員ヨ身者学こ環をこ

しよりの上に之のシン及びと境思はるに有義ある。

た。意を圖るの人の間には、まことに、ひびき

大七
のる
變化
必要
した
て事
従業
保た
間古
因る
義を

氣化を
要で
た。

持た
れ
てあ
ま
べ
る
と
の向
方を
のエ
工事
業を
乗
と

修会が二年間上七毛と学びました

様とびべ姿、こ越えて

なき、資、いや経とえ々周